

日本共産党　池浜(いけはま)あけみ

障がい者の生きやすい社会　25

問 **障がいのある人やひきこもる人などが、自分らしく安心して暮らせるよう市はどのようなことに取り組むのか。**

答 **福祉部長**　障害のある人やひきこもる人などが望んでいる暮らしや社会との関わり方を把握し、本人の意思や希望を尊重した上で、障害福祉サービスや相談支援等につなげることが重要である。川越市障害者支援計画において、障害のある人への施策やひきこもりに関わる事業の充実に努めるとともに、分かりやすく周知を行うことで、地域の中で必要な支援や人とのつながりを持ち、自分らしく安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現に向けて取り組んでいく。

関 物価高騰対応給付金　　関 生きやすい社会



日本共産党　今野(こんの)英子(えいこ)

市民が利用しやすい施設へ　26

問 **今後も市民の要望を捉え、市民が利用しやすい公共施設となるよう予算措置も含めて計画的に拡充することが必要と考えるが、市長の見解を伺う。**

答 **市長**　文化施設や公民館については、文化芸術や生涯学習、地域コミュニティーの拠点として、誰もが安心かつ快適に利用できる環境づくりが大切であると考える。そのためにも、施設の機能を引き続き発揮できるよう、適切な維持管理を行っていく。また、さまざまな魅力ある事業を展開していくことで、市民にとって、より利用しやすい施設となるよう努めていく。

関 公共施設の拡充を　　関 教職員の多忙化解消を



日本共産党　柿田(かきた)有一(ゆういち)

貧困の連鎖を止める支援を　27

問 **無料塾と家庭訪問を組み合わせて始まった学習支援は、本市では民間企業に委託され家庭訪問はない。困難を抱えるこどもに福祉的ケアが必要と思うが、市長の考えは。**

答 **市長**　本市の学習支援事業の対象者に対しては、学習面の支援や居場所の提供の他、日常生活習慣の形成など福祉的な視点からのサポートも一体的に実施している。

　こどもの心に寄り添った支援や関係機関と連携した支援など、福祉的な視点を持った支援が大切であると考えることから、今後も、こどもの学力向上や学習環境の整備と併せて、心のケアにつながるような支援を行っていきたい。

関 学習支援の改善　　関 シャトル・デマンド増便



無会派　村山(むらやま)博紀(ひろのり)

新聞活用で学校図書館整備　28

問 **デジタル教科書導入など教育現場での急激なデジタル化は心配だ。学校図書館整備として、活字に親しむ教育環境の拡充のため、新聞を複数紙配備することの考えは。**

答 **学校教育部長**　現在、全校への新聞の複数紙配備には至っておらず、新聞を活用した授業の機会はあるが、新聞以外の活用により、情報活用能力の育成を図り、探究的な学習に取り組んでいる。情報活用能力のさらなる育成、質の高い探究的な学習の実現は重要なため、今後は児童生徒が自主的に情報に触れる機会を確保するとともに、新聞を含めた複数のメディアや一人一台端末などの教具を効果的に活用し、情報リテラシーの育成に努める。

関 デジタル教科書導入



政策フォーラム　髙橋(たかはし)剛(つよし)

排水施設の耐水化を　29

問 **水害から市民の命と市民生活を守る排水施設が、浸水による機能停止とならないよう耐水化を進めるべきと考えるが、市の見解を伺う。**

答 **建設部長**※　排水施設の耐水化は、浸水による機能停止を防止するための対策を講じることが重要である。

　建設部では、これまでの浸水実績や浸水想定区域を踏まえ、効率的・効果的な整備を検討していく。また、上下水道局では、下水道施設の耐水化計画を策定し、浸水被害が想定される４カ所の排水施設のうち、霞ケ関第一雨水ポンプ場、上新河岸雨水ポンプ場の耐水化を実施した。今後は、残りの２カ所も順次耐水化を進めていく。

関 激甚化する水害への備え　　関 生活保護行政

※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。



初雁自由政令会　吉野(よしの)郁恵(いくえ)

これからの空き家対策は　30

問 **今後、人口減少が見込まれる中、まちの活力を維持・向上させていくために、空き家対策を土地利用やまちづくりに関連する部署で所管することへの考えは。**

答 **総合政策部長**　空き家対策については、それぞれの事案に応じて関係部署が情報を共有し、連携しながら対応している。一方、今後、人口減少が進む中においては、限りある土地・建物を有効に活用し、土地利用やまちづくり、都市機能の維持向上につなげていく視点も重要になると考えられることから、総合的な空き家対策を推進するための体制について、他市の取り組みを参考にしながら検討を行う。

関 空家対策